

機器更新時におすすめのモジュールタイプ スクリューチラーユニット

省エネ性^{*1}と制御機能を高めた 空冷式冷凍スクリーチャーユニット

※1.全機種で年間消費電力を19%以上低減。

年間消費電力量を大幅に低減。

50馬力相当の場合

従来機^{*2} 比約 **19/22%** (50/60Hz) **低減**^{*3}

■**圧縮機のオーバーホール(分解整備)周期を従来機^{*4}の
24,000時間から40,000時間へ延長。**

●オーバーホール周期: 運転時間40,000時間

●冷凍機油交換・各種点検周期: 2年^{*5}

MATRIX ADVANCE

マトリクスアドバンス



RCF1180AZ1^{*6}

RCF2360AZ1

※2.当社15年前製品 連続制御タイプ(RCUP1500AZ4)と新型機 連続制御タイプ(RCF1500AZ1)との比較。
※3.産業冷却の場合。
※4.コンパクトタイプAZ5:2016年3月まで発売の製品。
※5.冷凍機油交換できない場合は、オーバーホールを5年ごとに計画してください。
※6.写真は2台連続設置時イメージ。
(注1)吸込網取付けは改造対応となります。(注2)本機は屋外設置タイプです。

モジュール制御機能

■複数台設置時のモジュール制御が可能

台数制御機能を標準装備。台数制御専用コントローラーは不要です。(遠隔からの運転指令の入力は必要です) 圧縮機運転容量制御とチラーユニット運転台数制御の併用により、送水温度の安定とポンプ搬送動力を低減(チラーユニットとポンプが1対1の場合)します。

■モジュール伝送により、最大8モジュール接続可能

[1号機]親機 [2号機] [3号機] [4号機] [8号機]



モジュール伝送(H-LINK^{*7})

主な制御仕様

●ローテーション機能

各モジュールの運転時間を監視し、運転時間に応じてローテーション運転を実施します。

●異常停止時の動作

警報停止したモジュールは自動的に台数制御対象から除外し、運転を継続します。また、停止中のモジュールがある場合には、必要に応じてバックアップ機を起動します。

※7.H-LINKとは日立独自の伝送方式で、複数のチラーユニットを接続可能です。

■スクリーチャーユニット ラインアップ

空冷式冷凍スクリーチャー マトリクスアドバンス (モジュールタイプ)			型式	チラー出口温度 (標準使用範囲)	型名					
高効率	連続制御	空冷式冷凍 大容量タイプ	RCF AZ (P) 1	(冷却) 4~30℃	1180	1500	1800	2360	3000	3550
			RCF AZ (P) 1	(冷却) 4~30℃	●	●	●	●	●	●

最大8モジュール(480馬力相当)まで接続可能。大容量タイプは最大8モジュール(960馬力相当)まで接続可能。

水冷式冷凍スクリーチャー マトリクスアドバンス (モジュールタイプ)			型式	チラー出口温度 (標準使用範囲)	型名		
高効率	インバーター 連続制御	水冷式冷凍	RCF WVT1 (C)	(冷却) 3~25℃	1400	1700	2000
			RCF WZT1 (C)	(冷却) 4~25℃	●	●	●

最大8モジュールまで接続可能。



RCF1400WZT1C
(写真は2台連続設置時イメージ。)

ご購入に際して

本カタログに掲載の製品は国内仕様です。日本国内でのみご使用ください。日本国外でご使用いただいても、当社としては一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

販売元 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号

360°/ヒネズ

ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを

〈サービスエンジニアリング拠点〉

東 北 (022)225-5972 東 京 050-3144-9973
中 部 (0568)72-0131 関 西 050-3174-8976
中 四 国 (082)283-9374 九 州 050-3142-0634

〈営業拠点〉

●北日本支社 (022)266-1321 ●関東支社 050-3154-3973
北海道営業所 050-3142-0621
●中部支社 050-3144-9820 ●西日本支社 050-3181-8204
北陸営業所 (076)429-4051 中国支店 (082)240-6152
●九州支社 050-3142-0629 四国営業所 (087)833-8701

■製品の色は印刷されたものですから実際の塗装色とは若干異なります。

このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

信用と行きとどいたサービスの当社へ

日立スクリーチャーユニットを
より長くご使用いただくために

HITACHI
Inspire the Next

冷凍・空調機器の管理に対して
**お悩みは
ありませんか?**

Case 1

機器の定期点検の実施と、
運転状態データを定期的に
保管する必要がある。

Case 2

機器の故障による
お客さま設備の不稼働時間を
最小限にしたい。

Case 3

設備を安定稼働させながら、
保守作業のコストダウンも
図りたい。



RCF1180AZ1^{*}
※写真は2台連続設置時イメージ

安定稼働いただくために、計画的な保守整備は
exiida遠隔監視・予兆診断・稼働音診断で
サポートします。

「exiida」は日立の空調IoTソリューションの総称です。

印刷・発行: 2022年6月

SR-575

Printed in Japan(B)

